



第 65 回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、齊藤理加さんにご紹介いただいたこの方は、「4児のママでさつまいもを中心に農業経営を頑張っているスゴイ人」とのこと。インタビュアーは又木志帆でお届けします。

【今回のスゴイ人】

瀬崎農園

瀬崎 由美さん



今回は、末吉町で11ヘクタールのサツマイモを栽培する瀬崎由美さんにお話を伺ってきました。

高校は両親がしている農業とは違う道も見てみたいと思い曾於高校の情報処理科に進学しました。商業系の資格を取る中で、もっと経営を学びたいと思うように。

「大学進学を考えましたが、弟と妹がいるので両親の負担にならないように就職しました」

就職先は東京の百貨店。たまたま青果担当になり全国各地から届くこだわりの野菜や、その野菜を求めて足を運ぶお客さんに関わるように。そんななか、元々野菜好きだったことも相まって、栽培・販売・経営について興味が湧くようになっていきました。当時はお給料の半分以上を経営の参考書代に使っていたことも。

そして、転職が訪れたのが就職して2年後でした。

「父の体調がよくなって、その頃弟は高校2年生、妹は小学6年生でした。親を助けたい、自分が進学を諦めた分、弟妹には大学に行かせてあげたいと思い、仕事を辞め

て曾於市に戻ってきました」

まずは、お父さんの勧めもあり農業大学で専門知識を学びました。

「卒業後は父と叔父と私でサツマイモを2ヘクタール栽培していたんですけど、農大で出会った旦那さんが一緒に栽培に加わることで、目標としていた10ヘクタールに到達しました」

それでも、まだまだこれからと話す瀬崎さん。次の目標として地域の主婦層に焦点を当てた新しい取り組みを始めました。多くの人に短時間アルバイトという形で協力してもらい、労働力を確保しながら、参加する方は都合のいい時間に働けるという新しい仕組み。お子さんを預けている時間だけ参加する方もいます。

「地域の方々と新しいコミュニティができたようで嬉しいんです。気軽に参加してもらえそうな場づくりをしていきたいです」

高校・就職先・農大で学んだことが「いま」に全て繋がっているという瀬崎さん。今取り組んでいることが「これから」に繋がっていくんだなと思いました。

実は隣のスゴイ人



▶インタビューを終えて

4児の子育てに奮闘しながら農業に向き合うやり手ママさん。瀬崎さんの作る絶品の紅はるか。個人的には栽培方法にも興味があるので“新しい取り組み”にぜひ参加したいと思います。(又木)



瀬崎農園

☎ 090-4587-6934

※さつまいもはAコープ末吉店で販売予定のほか、7月20日以降に電話・Instagramのメッセージで注文を受け付けます。



協力隊の今日この頃

お久しぶりです。又木です。というのも先々月入籍をしまして、柙（はじ）から又木（またき）になりました。曾於市にたまたま来て、これからお世話になることになり、これもなにかのご縁だと感じています。「連絡がきてないぞ!」という方もいらっしゃると思いますが、この場をお借りして報告させていただきます。今後ともよろしくお願ひいたします。

また4月・5月と前協力隊のお二人が退任されました。新しい門出を祝いつつ少し寂しい気持ちです。沢山助けていただいて、沢山教えていただいて、沢山笑わせてもらって楽しかったです。本当にありがとうございました。私に残すところ1年となり、退任後を見据えて活動していかなければならないと感じています。先月は大隅・末吉・財部の子育て支援センターにお邪魔してトマトの栽培講座をしました。お子さんよりお母さんたちが楽しそうに参加してくれて嬉しかったです。「皆さん、順調にトマト育ってますか?」笑

(又木)



休日に集まる仲の良い協力隊メンバー



又木さんのInstagramはこちら